

乙訓地域



分科会

だより

vol.04

みんなが暮らしやすい

まちだから

みんなで考えよう

みんなのまちの将来を



夕やみが深まる秋の竹林に、ろうそくの灯りがゆらめきます。やさしい音色のフルートの調べや竹太鼓の響きが、ひんやりした竹林にしみわたります。乙訓地域はタケノコの産地。「竹の径・かぐやの夕べ」や「おとくに竹あそび」など、親竹を整備しながら竹林を楽しむ住民参加型のユニークな催しも行われています。

乙訓地域分科会では、乙訓2市1町の合併問題について調査研究や情報提供を行っています。今回は、前号でお知らせした「アンケート調査結果の概要」を少し深めて、細かな集計分析をしました。皆さまからいただいたご意見も紹介しています。また、このたび総務省から「平成の合併」で、これまでに合併した市町村の傾向が公表されました。将来のまちづくりの参考事例として紹介します。

◆ もくじ ◆

特集 アンケート結果の傾向をみる

総務省「平成の合併」の評価・検証・分析から

京都府内の自治体では？

合併すると何が変わるでしょうか

アンケート結果の傾向をみる

将来の乙訓地域について昨年、乙訓地域の住民アンケート調査を行いました。合併の賛否では「どちらともいえない」「合併の長所・短所がわからない」「などのご意見もいただきました。

今年3月発行の分科会だより「アンケート調査結果の概要」の後も、さらに細かな集計や分析をしながら調査研究を続けてきました。

そこで、アンケートの集計結果を整理して、あらためてご紹介します。



市町別にみてみよう

●いまのまちづくり満足度をみると… 満足度の高い順に

向日市

- ① 日常の買物の便利さ
- ② ごみの収集・処理の状況
- ③ 交通機関の便利さ

長岡京市

- ① 自然環境の豊かさ
- ② 日常の買物の便利さ
- ③ ごみの収集・処理の状況

大山崎町

- ① 自然環境の豊かさ
- ② ごみの収集・処理の状況
- ③ 騒音・振動・悪臭等の環境

●将来に希望する まちづくり施策をみると… 希望率の高いものに

向日市・長岡京市・大山崎町 ともに

- 保健・医療・福祉対策の充実
- 道路の整備



市民がふれあうイベント（向日市）

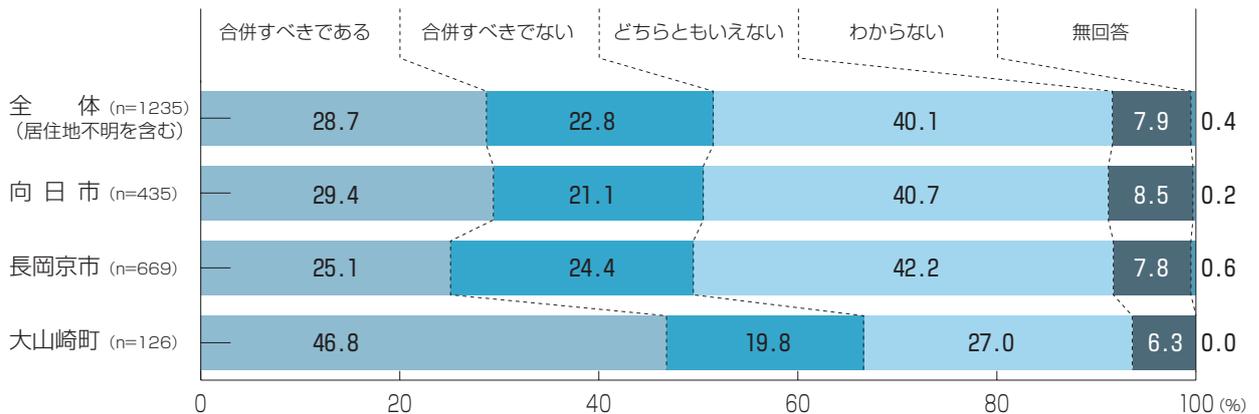


街の中でも散策スポット（長岡京市）



四季の表情豊かな天王山の麓（大山崎町）

●合併問題についての考えをみると…



全体では「合併すべき」(28.7%)、「合併すべきでない」(22.8%)で、わずかに合併に賛成の意向が強い結果でした。一方で、「どちらともいえない」(40.1%)、「わからない」(7.9%)が多く、合併による長所や短所、どのように変化するかなどの具体的な情報を必要とすることがわかりました。

賛否の理由では、合併すると「事務の効率化、経費削減ができる」、「広域的な視点でまちづくりができる」ことを期待する一方で、「きめ細かな行政サービスが難しい」「役所への距離が遠くなる」ことを心配する声もあります。

向日市
合併すべき 29.4%

理由：

- 事務の効率化・経費削減 (74.2%)
- 道路・公共施設整備や土地利用など広域的な視点でまちづくりが行える (64.8%)

合併すべきでない 21.1%

理由：

- きめ細かな行政サービスが難しい (63.0%)
- 役所への距離が遠くなり不便になる (50.0%)

長岡京市
合併すべき 25.1%

理由：

- 事務の効率化・経費削減 (75.6%)
- 道路・公共施設整備や土地利用など広域的な視点でまちづくりが行える (53.6%)

合併すべきでない 24.4%

理由：

- きめ細かな行政サービスが難しい (52.8%)
- 住民の意見が反映されにくい (39.3%)

大山崎町
合併すべき 46.8%

理由：

- 事務の効率化・経費削減 (64.4%)
- 道路・公共施設整備や土地利用など広域的な視点でまちづくりが行える (57.6%)

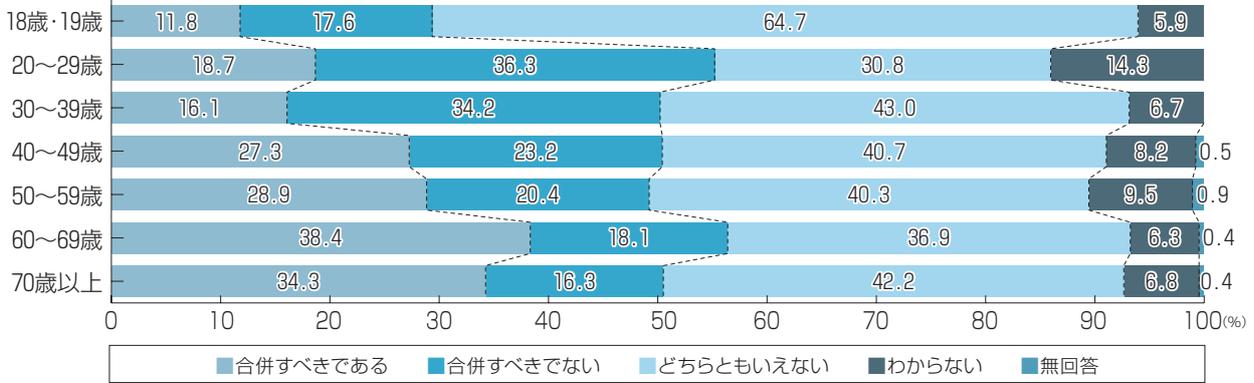
合併すべきでない 19.8%

理由：

- きめ細かな行政サービスが難しい (60.0%)
- 役所への距離が遠くなり不便になる (48.0%)
- 住民の意見が反映されにくい (48.0%)

年代別にみてみよう

●合併問題についての考えをみると…



※18・19歳は回答者数が少ないため傾向誤差が生じます。



39歳までの世代に「合併すべきでない」が多く、40歳以上の世代は「合併すべき」とする割合が高いことがわかります。

世代別の傾向は上のグラフのように10歳ごとに分けています。世代の傾向がわかりやすいように、さらに18歳～39歳、40歳～59歳、60歳以上の3区分にまとめて紹介します。

●世代ごとにそれぞれの思いは… 他の世代と比べて回答割合が高いもの

18～39歳では…

合併すべき 16.6%

理由：

- 事務の効率化・経費削減 (60.0%)
- 道路・公共施設整備や土地利用など広域的な視点でまちづくりが行える (54.0%)
- 他の自治体にある保育所や施設が自由に使える (50.0%)
- 行政サービスが充実 (46.0%)

合併すべきでない 33.9%

理由：

- きめ細かな行政サービスが難しい (45.1%)
- 地域の伝統、文化など個性や特徴が失われる (39.2%)
- 役所の距離が遠くなり不便になる (38.2%)
- 住民の意見が反映されにくい (35.3%)
- 地域の連帯感、コミュニティが弱くなる (14.7%)

40～59歳では…

合併すべき 28.1%

理由：

- 事務の効率化・経費削減（75.4%）
- 道路・公共施設整備や土地利用など広域的な視点でまちづくりが行える（57.0%）
- 行政サービスが充実（38.6%）

合併すべきでない 21.7%

理由：

- きめ細かな行政サービスが難しい（70.5%）
- 住民の意見が反映されにくい（47.7%）
- 地域の伝統、文化など個性や特徴が失われる（33.0%）
- 公共料金など住民負担が増加する（30.7%）

60歳以上では…

合併すべき 36.4%

理由：

- 事務の効率化・経費削減（75.8%）
- 道路・公共施設整備や土地利用など広域的な視点でまちづくりが行える（60.5%）
- 行政サービスが充実（40.0%）
- 他の自治体にある公共施設が使える（32.6%）

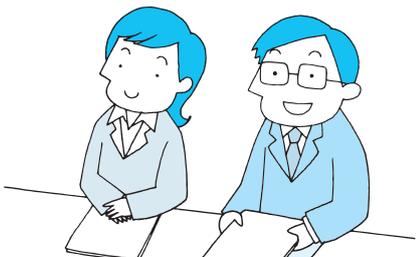
合併すべきでない 17.2%

理由：

- きめ細かな行政サービスが難しい（56.7%）
- 住民の意見が反映されにくい（47.8%）
- 公共料金など住民負担が増加する（34.4%）
- 役所の距離が遠くなり不便になる（33.3%）

○39歳までの世代では「利用できる公共施設等が増える」ことを期待する率が高く、一方で「地域の個性が失われる」ことを心配する声もあります。

○40歳以上の世代では「事務効率化により経費が削減する」期待が大きい傾向が現れています。一方で「きめ細かな行政サービスが低下する」ことを心配する声もあります。



総務省のウェブサイト
<http://www.soumu.go.jp/gapei/>

総務省「市町村合併に関する研究会」で今年6月に、すでに合併した自治体などを検証した報告書が公表されました。

合併効果が現れるまでは一定の期間が必要です。しかし、ほとんどの自治体では合併して数年しか経っていないため、短期的な影響を分析したものが載せられています。

その中から、乙訓地域の検討材料として参考になるいくつかの内容を紹介します。詳しい報告書は、総務省のウェブサイトからダウンロードすることができます。

9年前の市町村数

	平成11年3月31日 市町村数			
	市町村計	市	町	村
全国	3,232	670	1,994	568
京都府	44	12	31	1

いまの市町村数

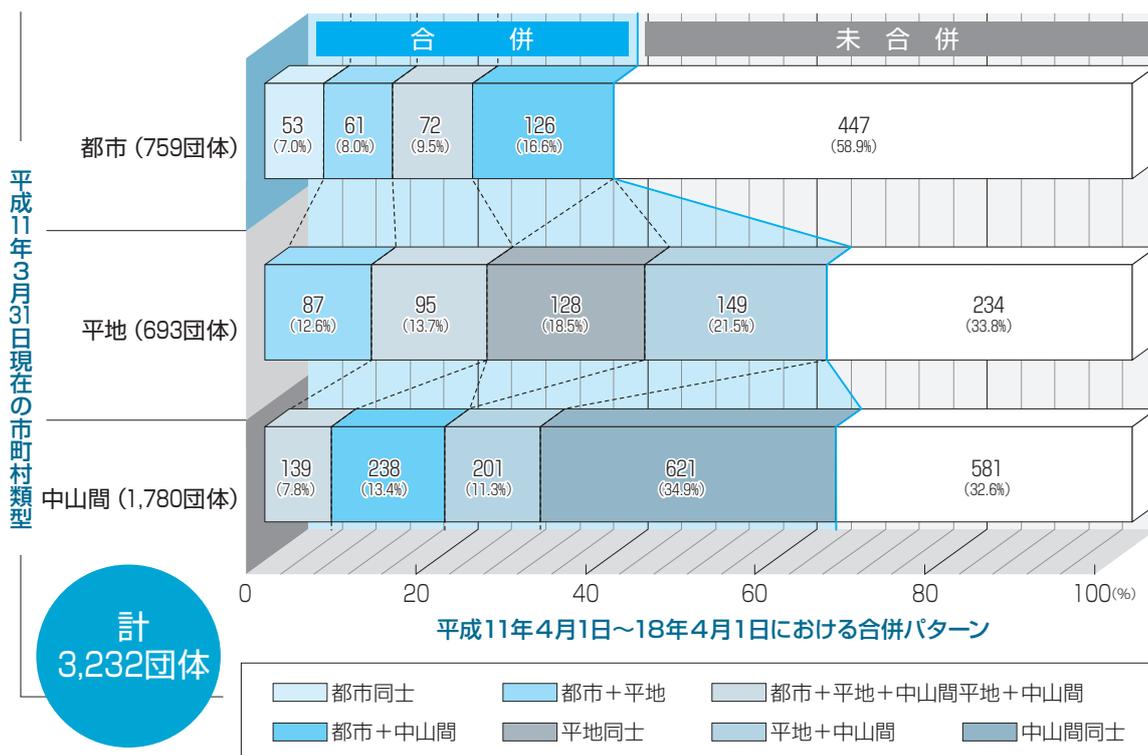
	平成20年11月1日 市町村数			
	市町村計	市	町	村
	予定 1,784	783	808	193
	予定 26	15	10	1

今回の合併は…

- 行政の単位が住民の日常生活圏に近づいたものが多いことが特徴です。
- 地域類型では、都市の合併（41%）より、平地（66%）や中山間（67%）の合併が進みました。三大都市圏など大都市部であまり都市同士の合併は進んでいません。

市町村類型別 合併パターン

■乙訓地域は「都市同士の合併」に該当します。



合併による行財政の変化

行財政基盤の強化

■組織面

- 「保健福祉」「産業振興」などの分野で組織の充実・専門化
(例)効果的な子育て支援施策を展開するための専門組織を設置
- 旧市町村では配置できなかった専門職員によるサービス提供の体制整備
(例)母子の健康を保持するための栄養士・助産師・保健師などを配置

■行政運営面

- 適切な行政運営のための条件整備
(例)行政評価を導入
- 行政課題への的確な対応が可能
(例)企業誘致、雇用対策、定住施策などを実施
- 境界を越えた公共施設の広域的利用など住民サービスの提供
(例)空き保育所の有効利用、図書館ネットワーク化

効率がよく
なったんだなあ



■財政面

- 短期(合併後およそ3年間)評価では、規模拡大に伴う財政基盤の強化
(例)都市同士の合併では、財政力指数が上昇し財政基盤が強化
(乙訓地域は「都市同士の合併」に該当します。)

合併パターン別 財政状況の変化【財政力指数】

	11年度決算			17年度決算									
	合併市町村	未合併市町村	合併・未合併合計	合併市町村(合併パターン別)						合併市町村	未合併市町村	合併・未合併合計	
				都市同士	都市+平地+中山間	都市+中山間	平地同士	平地+中山間	中山間同士				
都市	0.651	0.767	0.719	0.851	0.706	0.567	0.606				0.642	0.810	0.754
平地	0.382	0.424	0.396		0.706	0.567		0.469	0.414		0.516	0.484	0.500
中山間	0.271	0.307	0.283			0.567	0.606		0.414	0.329	0.438	0.341	0.383

青い字の区分で
財政力が平均より
強いよね



※ H11.4.1 ~ H18.4.1における合併・未合併の市町村

※ 合併パターンに区分して単純平均。

青太字：合併市町村及び未合併市町村合計の財政力指数の平均より大きいもの

④・平成11年度と17年度の普通会計決算ベースで比較

<財政力指数>

(基準財政収入額÷基準財政需要額)の3カ年平均…高い値ほど財政力が強い

乙訓地域のような大都市近郊では、「平成の合併」はあまり進みませんでした。この分析では、すでに一定以上の規模や能力がある都市同士が合併すれば、より一層行財政基盤の強化が期待できることがうかがえます。

合併による住民生活の変化

住民サービスの維持・向上

- およそ8割の団体において、①専門的なサービスの実施、②合併前に一部の市町村で行われていたサービスの全地域への拡大など、住民サービスへの取り組みがみられます。
(例)保育サービス(延長・休日・一時保育)、妊婦や母子の一般健康診査、子育て支援サービスなどの拡充。
- 行財政改革の観点から敬老・結婚祝金など個人への支給金を削減・廃止される例が多い。このことが合併の影響と受け止められ、消極的な評価を示す例もみられました。

コミュニティ振興への取り組み

- 住民の声が届けにくくなる懸念に対応するため、多くの合併市町村で、地域コミュニティ関連の施策に取り組んでいます。
(例)自治会、町内会など既存の地域コミュニティ活動を行う団体への支援。
学校区を単位としたコミュニティ組織の創設。

住民負担への影響

- およそ9割の団体で、合併を契機に住民負担(使用料・手数料)の見直しを行っています。使用料などの、①引き上げのみ、②引き下げのみ、③両方を行った市町村が、それぞれ同数程度となっています。

広域的なまちづくり

- 地域資源のネットワーク化により、広域的な地域活性化に向けた新たな取り組みが行われています。
(例)有名な観光地が一つになり、広域的な観光ルートを設定。
地域の特産品のブランド化。
- 広域的なまちづくりの観点から、効率的な公共施設の再配置が進められています。
(例)重複することになった学校給食センター、集会施設、環境衛生関連施設などを他の用途に転用する例もみられます。

合併市町村の課題

旧役場が支所になった周辺部において、住民の自主的な活動の有無により地域の活力に差が生じる。

住民の自助自立意識の高まりを活かし、住民が主体となった地域づくりをさらに推進する。

旧市町村の組織風土の違いなどから、一つの組織としての融和に時間を要する事例。

移行期の課題を早期に乗り越え、強化された行財政基盤を活かし、行政遂行能力を高める。

財政状況悪化の時期と合併の時期が重なり、合併の財政効果が実感できない事例。

重複部門を統合して合併効果を活かして積極的な行政効率化に取り組み、中期的に財政運営を改善する。

京都府内の自治体では？

京都府内の市町村数は、平成16年3月末日の44(12市、31町、1村)から26(15市、10町、1村)に減りました。合併していない自治体は19(15年度比で43%)ですが、現在、乙訓地域の向日市、長岡京市、大山崎町は合同で、合併に係る研究会を設置しています。

京都府内で合併した自治体(7市町)

平成20年9月1日現在

新市町名	形態	旧市町名	合併年月日
京丹後市	新設	峰山町、大宮町、網野町、丹後町、弥栄町、久美浜町	平成16年 4月 1日
京都市	編入	京都市、京北町	平成17年 4月 1日
京丹波町	新設	丹波町、瑞穂町、和知町	平成17年10月11日
南丹市	新設	園部町、美山町、八木町、日吉町	平成18年 1月 1日
福知山市	編入	福知山市、三和町、夜久野町、大江町	平成18年 1月 1日
与謝野町	新設	岩滝町、加悦町、野田川町	平成18年 3月 1日
木津川市	新設	木津町、山城町、加茂町	平成19年 3月12日

福知山市は平成18年1月1日に合併して、もうすぐ3年になります。当時の三和町、夜久野町、大江町の3町が福知山市に編入しました。新・福知山市域は、歴史的にも、経済・文化・生活などの面でも強い結びつきがあり、少子高齢化の進行、情報化の推進、環境の保全、地方分権の推進、財政基盤の強化など、諸課題を解決する手法として合併を選ばれました。

●財政削減効果

合併に伴う行財政のスリム化により、短期的な効果として2年後の19年度末に、約3億3千万円を削減できました。主な内容は、①定員管理の適正化、②簡素で効率的な組織整備、③事務事業の再編、④公的施設の統合などでした。

●まちの魅力が再発見される

旧市町には、資料館や文化ホールなどがあり、歴史的な文化遺産も多いところ。そこで、①文化遺産などを巡るツアー、②地域文化の特別展、③既存のホールを利用したコンサートを開催しました。市民はまちの魅力に気が付きました。広くなった地域を訪れ、イベントに参加し、伝統文化の漆塗りの和紙作りなどを体験しました。新たな福知山十景を設定して、旅行会社などにも紹介しています。ハイキングや体験ツアーなどの企画が増えて、まちに活力ができました。

たとえば、福知山市は…



合併すると何が変わるでしょうが



教授
それでは、合併について、お話をさせていただきます

学生
合併のことをわかりやすく、教えてください

いまの役所はどうなるの？



合併したら、いまの役所はなくなるんですか？



合併してもいま住んでいるまちの役所がなくなるわけじゃありません。地域の皆さんが慣れ親しんでいる場所にあるわけだし。



でも先生、行政組織や議会はひとつになるんですよね？
いくつかの庁舎に分かれてしまっんですか？



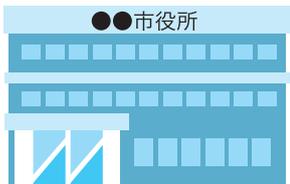
ひとつの庁舎にまとめるのか（本庁方式）、いくつかの庁舎に分けるのか（分庁方式）は、よく考えて決める必要があります。行政組織や議会は、これまでよりもスリムになるでしょうね。



本庁方式になったら、役所の窓口が遠くなりませんか？



現在の庁舎は合併しても、いろんな住民サービス施設として使い道が広がります。旧市町の庁舎が使えることで、これまでより窓口が近くなる人もおられるかもしれないですね。



●●市役所



利用できる施設が増えるの？



合併したら、利用できる公共施設は増えるのですか？



これまで地元の人しか利用できなかった施設も、新市の施設となるわけだから、広い範囲で利用できるようになりますね。



じゃあ、近くの学校に通えたりできるのですか？



合併のメリットのひとつとして、住民の意見や通学区域を地域の実情に合わせて変えれば、今より近い学校に通学できるでしょうね。



新しい市になったら、新しい施設もたくさんできるのですか？



本当に必要な施設は新しくつくる場合もあります。でも実際には、いまある施設を有効利用して考えることも大切です。



将来のまちは？



でも合併するとしたら、財政がよくなったり、住民サービスがよくなったり、まちづくりがうまくできたりしないと、メリットがないですよ。



そのとおりですね。財政やまちづくりは、何年後になっても、やっとならぬ効果が出るので、すぐに結果がわかるようなものではありません。難しいことですね。



合併するとかしないとかでなくて、将来の国や自治体の仕組みがどうなるかも知りたいです。



そうですね。この広報誌にも詳しく載せたいですね。



先生のお話を聞いて
もっと知りたくなりました



まちの将来のこと、
これからも私たちと一緒に
考えていきましょう

次回の「乙訓地域分科会だより」には、最近の乙訓地域の財政状況や国の動き、合併した自治体のその後の状況などを掲載していきます。発行は3月の予定です。

皆さまからのご意見をお待ちしています。

乙訓地域分科会では引き続き、広く合併についての意見を集めています。皆さまからいただいたご意見は、乙訓地域分科会だよりやウェブサイトで紹介します。また、この広報誌などを見て感じたこと、気づいたこと、改めて思ったことなどを、ぜひ、事務局までお寄せください。方法は電子メール、お便り、電話、ファクス、いずれでもかまいません。ご意見をお待ちしています。

◆連絡先◆

京都南部地域行政改革推進会議
乙訓地域分科会 事務局

〒617-0006

京都府向日市上植野町馬立8番地

TEL:075-935-5361/5362 FAX:075-935-5361

E-mail:ocbunkakai-jmk2006@cap.ocn.ne.jp

<http://www.otokuni-cbk.jp/>

ウェブサイトを
随時更新中です！



発行：平成20年9月
京都南部地域行政改革推進会議
乙訓地域分科会



この印刷物は古紙/パルプ配合の再生紙と大豆油インキで印刷しています。